

野毛山ものがたり館

第1回えんがわ茶論

2025年12月7日(日) 15:00~17:00



野毛山ものがたり館（旧川本邸）は、昭和初期に建てられた美しい数寄屋建築の古民家です。ここを舞台に、一服のお茶を召し上がっていただきながら、日本古来の文化や暮らしの一コマを楽しみ、学びあう文化サロンを毎月開催します。

第1回は、東海大学教授 小沢朝江先生をお迎えし、旧川本邸の建築を通して、日本家屋の価値と魅力を教えていただきます。多くのみなさんのお越しをお待ちしております。

一々一々一々に読み聞

文芸春秋社刊

野毛山ものがたり館館長 宮本裕子

第1回えんがわ茶論（さろん）

第1部：呈茶

第2部：講義と見学「旧川本邸の建築探訪」

東海大学建築都市学部建築学科教授 小沢朝江氏



日時：2025年12月7日(日) 15:00~17:00（開場：14:30）

会場：野毛山ものがたり館（旧川本邸）国登録有形文化財

横浜市西区戸部町1丁目13番地

（電車：桜木町駅から徒歩15分、バス：横浜駅より市営バス103系統「伊勢町」で下車、徒歩5分）

参加費：2,000円

定員30名（事前申込制）

主催：野毛山ものがたり館運営協議会

お申込み：<https://forms.gle/Fdg141QEAT32Maf9A>

こちらのQRコードからも

お申し込みください。→



《野毛山ものがたり館(旧川本邸)とは?》

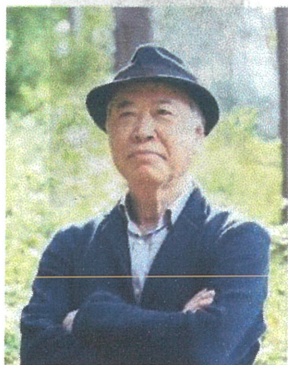
明治期より横浜の財界の重鎮が邸宅を営んだ野毛山に昭和8年、川本祐藏家により建設された近代和風住宅。2024年に国登録有形文化財に指定されました。

京浜電気鉄道(現・京浜急行電鉄)の野毛山トンネル建設で川本家が用地を提供し、工事完了後に地上権を得て、現住宅を建設。現在、建物と地上権は京浜急行電鉄が所有するが、同社は建物を保存して地域で活用する方針を決定し、(株)計画・環境建築、(株)花升木工社寺建築、(株)ENISHINOで構成する運営協議会が、この施設の企画・運営・管理を行っています。

地図



《私たちが運営しています》



杉本 洋文

(株)計画・環境建築代表



市川 千里

(株)花升木工社寺建築女将
特定非営利活動法人 宮大工木造
技術継承協会事務局長

宮大工女将として20年。様々な宮大工を傍らで見守り続け、寡黙な職人たちの一言一言を大切に記憶。その奥深さに感動が深まる日々。尊い日本の存在を世界に伝える「職人の代弁、通訳」を日本で唯一かつて出ている。

職人応援団団長



宮本 裕子

匠応援コーディネーター

大学卒業後、ファッション関係の仕事でパリに駐在。帰国後、15年間、専業主婦として過ごし、40代で大学院でアートマネジメントを学ぶ。アートコンサル会社勤務を経て、横浜市に入庁。2025年に定年退職。伝統工芸の衰退、文化財の消滅などに危機感を持ち、匠と異業種の掛け合わせにより新しい価値を創ることを目指す。裏千家茶道准教授。

(宗名:宮本宗裕)